

オンライン形式等による受託研究審査委員会開催に関する 標準業務手順書

金沢大学附属病院受託研究審査委員会標準業務手順書【補遺】

西暦2024年9月12日
第 1.0 版

(目的)

第1条 本手順書は、金沢大学附属病院受託研究審査委員会（以下、「IRB」という。）について、Web会議システム（Webex、Zoom等）を利用したオンライン形式又はオンライン形式と対面形式を組み合わせた方法により開催する場合の手順を定めるものである。

(会議の開催要件)

第2条 IRBは、委員長が必要と認める以下の場合において、Web会議システムを利用して開催することができるものとする。

- ①感染症の拡大や災害等の影響により、対面形式での開催が難しい場合
- ②会議に参加するIRB委員又は出席者から特段の理由により、Web会議システムを利用した参加申請があり委員長が承認した場合

(委員出席の取り扱い)

第3条 双方向の意思疎通が可能であり、対面形式での開催の場合と同等の審議を行うことが可能な場合には、Web会議システムを利用して会議に参加したIRB委員も審議及び採決へ参加できるものとする。

(開催時の手順)

第4条

1. 事前準備

治験審査委員会事務局は、利用するWeb会議システムを設定し、Web会議システムを利用して会議に参加するIRB委員及び出席者へ会議ID、パスワード等をメールで通知する。

2. 開催当日

- (1) 治験審査委員会事務局は、IRBの進行に支障をきたさないよう必要に応じてWeb会議システムの接続テストを行う。
- (2) Web会議システムを利用して会議に参加するIRB委員及び出席者は、守秘義務を厳守できるよう、情報漏洩の恐れが無い個室等の場所から参加するものとし、Web会議システムへのアクセス時に所属・氏名を入力する。
- (3) 治験審査委員会事務局は、Web会議システムの映像及び音声によりIRB委員及び出席者が本人であること、出欠確認時の情報と一致していることを確認し、併せて委員会の成立要件を満たしていることを確認する。
- (4) 委員長は、前号の事項を確認後、IRBを開催する。
- (5) 審議及び採決においては、審議及び採決に参加できない者がWeb会議システムから退出したことを確認したのちに行う。
- (6) 委員長は、Web会議システムの不具合により円滑な委員会進行が行えないと判断した場合は、会議の中止も含め適切な措置を講じる。

(会議の記録)

第5条 本手順に依りIRBを開催した場合、その旨を会議の記録に残す。

(附 則)

本手順書は、2024年9月12日から施行する。